



ヨーロッパ系SUVにもセダンにもラグジュアリーな存在感を

Aspen-**HLT**

最近ブームとなっているヨーロッパ系SUVにターゲットを合わせたホイール、それがこのアспенHLTだ。O・ZのSUV向けライン「オールテレンシリーズ」の最新モデルである。

まずはダイナミックな5本スポークデザインに注目したい。二面構成で捻りを加え躍動感を醸し出したスポークには、直線基調ゆえの力強さまで漲っている。実にダイナミックなスポークの広がりに対して、その勢いを加速するかのよう、切削加工によるエッジの効いたアレンジが施されたリムパートへと繋がっていく。この非対称デザインが実に個性的。ホイールに角笛が埋め込まれているかのようにも見える。かなりユニークだ。

マットブラックと切削ポリッシュを組み合わせた色のマジックによって、リムパートにホールが空いているようにも見える。それが止まっているかのようにも印象を生む。さらにスポークの裏側には挟りが入られており、見えないうちでしっかり軽量化も図られている。

サイズは20と21インチで、PCDはジャガー&レンジローバー系の108、メルセデスベンツやア

ウディ系の112、BMW系の120、ポルシェ系の130とフルカバーしている。

一方でSUVモデルには2トンを超えるような重量級が数多い。となれば1輪あたりの荷重値は過大になる。当然ながらホイールには高い強度が求められる。さらに拡大の一途をたどるホイール径のサイズも問題だ。径が大きくなればジャイロモーメントがより強く発生する。この点、O・Zは厳しいTÜV規格をクリアしているのが安心だ。また各モデルにはハブリングやボルトなど専用パーツが付属していることもあり、フィッティングについてはまったく不安がない。

さらにO・Zホイールにはヨーロッパで義務化されているタイヤ空気圧センサーにも対応している。日本ではまだ馴染みが薄い、アウトバーンを疾走するためには空気圧センサーは必須なのだ。こうした目に見えないところにも、O・Zの世界市場を見据えたこだわりを見出すことができる。

このアспенHLTのスタイルは、SUVはもちろんのこと、ビッグセダンにもフィットするはずだ。セダンに履くと、その押しの強さを生かして

“ちょい悪”風に仕立てることができそうだ。レクサス系など日本車にも対応しているが、そのバリエーションは今後も拡大していくとのこと。とくに日本車へのより細やかな対応は、O・Z製品全般で検討しているというから期待しよう。

O・Zはリムに刻印されているようにMade in Italyだからこそその斬新なデザインを毎年のように新たに提案してくる。わかりやすくオシャレな製品群には同時に、幾多の勝利に裏打ちされたサーキットテクノロジーが脈々と息づく。高性能でありながら優れたデザイン性を持ち合わせたO・Zホイール、次なるステージも多に楽しみである。



アспен-**HLT**
アルミ鋳造1ピースホイール

価格：102,600～133,920円(1本)
カラー：マットブラックポリッシュ
URL：www.oz-japan.com/



ラグジュアリー系からスポーツモードまで、フルサイズSUVの存在感に引けを取らないインパクトのあるデザインだ。非対称に描かれるエッジの効いたフィンが、ダイナミックな走りを印象づける。